

背筋の通った校長の姿に感動!

●浦和高校・関根校長の備忘録!

先々週の土曜日に浦高地域職域同窓会責任者の懇親会で、**関根郁夫校長先生**が備忘録を付けられ、知人にメール配信されていらっしやることを伺いました。そこで、私のところにも配信をお願いすると、その日のうちにバックナンバーが…。A4判149ページの**私信「れんこん」**が送られてきました。

*

◆我々はやる

謹啓 若葉萌え、銀杏樹が芽吹く春。若い命が成長、躍動する春。新たな出逢いに心躍らせています。さて私こと、このたび、埼玉県立浦和高等学校勤務を命ぜられ、着任しました。校長職の責任の重さを受けとめ精進してまいりますので、これまで以上にご指導ご鞭撻をお願いします。 敬具

一日、辞令交付式、転入者や新採用者への浦高概況説明。午後、全国高校選抜ラグビー大会の応援で熊谷へ。二日、引き続き応援。夜、浦和地区管理職の会。三日、高体連事務局が説明に来校。浦高校長は県高体連会長とか。午後、南部地区校長会。夜、歓送迎会。四日午前、入学式式辞づくりに着手。午後、妻と上野公園で花見デート。五日午前、式辞づくり継続。午後、前島富雄先生を囲む会。

浦高の新五ヵ年計画を念頭に置きつつ、七日の準備出勤での教職員への挨拶や入学式式辞、始業式での挨拶を構想する。まずは、全日制の入学式式辞から。

▼式辞の骨子／無理難題を課す浦高の紹介／入学生諸君への三つの心構え／保護者への二つのお願い

▼三つの心構え／少なくとも三兎を追え／第一志望をゆするな／やらずに後悔するよりやってみよ

▼二つのお願い／子離れして下さい／子供の悲しみに寄り添ってあげて下さい

三つの心構えは、高校が「驚き」と「喜び」を知る時代であることに対応した話。二つのお願いは、「悲しみ」を知る時代でもあることに対応した話である。

三兎、勉強・部活動・学校行事を追えは、幅広い教養や体験を積みねば世界を相手に競えないの意。第一志望をゆするなは、人生の岐路に立ち、楽な道と困難な道があったら、迷うことなく困難な道を選ぶの意。やらずに後悔するよりやってみよは、高校時代は無理を承知でやってみよの意。

三つの心構えを自己流で英語に意識してみた。

We need We can We will
浦高は「We」で行くぞ。ワクワク、愉快に挑戦だ。
(平成21年4月5日)

*

◆元気回復法 私信「れんこん」<614>

九日、福島県立相馬高校に新採用教諭として赴任した元教員が来訪。かつての同僚である化学の教員と話をして元気をもらってきたというが、覇気がない。相馬での日々は過酷で希望がない暮らし。何もできないという無力感でエネルギーが枯渇した顔であった。

名刺を四枚渡して元気を回復する方法から語り聞かせた。心を元気にしようと頑張るな。身体の動きを少し変えるだけでいい。大股で速く歩く。大きな声で「はい」と返事する、など。

渡した名刺の一枚▼もう限界だと思ったときには／腹式呼吸で大地の元気を吸い込み、不安を吐き出せ／身体を変えよ／顔を上げ、胸を張り、笑顔を作れ／あと三日、あと三時間、あと三分だけ全力を尽くせ

自然からエネルギーをもらう方法もある。朝の太陽に「今日も一日、丸く豊に明るく元気に感謝して生きられますように」と挨拶すると元気が出る。風に吹かれるのが好き。エネルギーに満ちた強い風に吹かれていると勇気が湧いてくる。青空や白雲もいい。心が澄んできて、涙が出る。

友人を増やそう。時々浦高に来なさい。NPOとの交流もいい。カタリバを紹介しよう。解決はしてもらえないが、悩みを聞いてもらえる。人と人の関わりからエネルギーは生まれる。私のメルアドもあげよう。

学校では生徒から元気をもらえる。授業とホームルーム、部活動に全力を尽くそう。三つのどこかで元気を補給できる。若い生徒たちには生命力がある。側にいるだけで元気になる。

演技せよ。本心は暗いままでもいい。生徒たちの前では元気な教師を演じなさい。それがプロの仕事。生徒の苦しみを無くせはしないが、癒せはする。教師の明るく元気な姿が生徒たちを明るく元気にさせる。

交換はエネルギーを大量に消費する。贈与はエネルギーを生み出す。教師の仕事は贈与が基本。贈与し続けるために元気の補給路を何本も用意しておこう。

若者に元気回復法を語っていたら、元気になった。五十肩に負けてたまるか。

(平成25年2月10日(日))

*

一昨日までの記録を数えるとちょうど300号、素晴らしい情熱ですね。その時々学校の様子、生徒達の様子、生徒達へのメッセージなど、現場の指揮官の表情がうかがえる貴重なメールです。背筋がピンとした先生の考え方を学ばせていただきます。